

# 市民公開講座

共催：水俣市・JNC株式会社

## 未来につながる新しい環境技術

2026年 2月14日（土）

時間 13：30～15：30

13：00 開場

場所 水俣市公民館 **参加費無料**  
**定員150名**

お申込みは2月11日まで

下記URLか右記の2次元バーコードからお申込みください

<https://logoform.jp/form/YZGm/1408110>



13:30～13:35 開会

開会のごあいさつ

13:35～14:00 概要説明

JNC株式会社の取り組みについて

14:00～15:30 講演会

テーマ：ペロブスカイトがつくる未来

講師：桐蔭横浜大学 宮坂 力 特任教授

会場では、先端環境技術の「ペロブスカイト太陽電池」及び「磁性微粒子技術」のパネル展示、体験コーナーを設置します。



宮坂教授は、ペロブスカイト太陽電池の発明でノーベル賞の有力候補者として、クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞（2017年）に選出されています。

お問い合わせ先：水俣市役所 環境課

TEL 0966-61-1612

この取り組みは、環境省、熊本県、水俣市が実施する先端環境技術等開発促進事業補助金を活用しています。





■ 宮坂 力 氏（桐蔭横浜大学 特任教授／東京大学 先端科学技術研究センター フェロー）

1981年に東京大学大学院工学系研究科を修了し博士号を取得。富士写真フイルム株式会社（現・富士フイルム）にて研究職として勤務した後、東京大学先端科学技術研究センター教授として長年にわたり教育・研究活動に従事。

2009年、有機無機複合化合物のペロブスカイト結晶が強い光吸収を持ち、半導体として光発電特性を示すことを世界で初めて報告。この成果は、次世代太陽電池研究の方向性を大きく変える転換点となり、その後、世界各国でペロブスカイト太陽電池に関する研究開発が急速に進展する契機となる。

研究成果の社会実装を見据え、2004年にペクセル・テクノロジーズ株式会社を設立し、大学発スタートアップとしてペロブスカイト太陽電池の実用化および量産技術の確立を主導。

研究室レベルの基礎技術を産業界へ橋渡しする役割を担い、国内外の企業や研究機関との連携を通じて事業化を推進している。

○ ペロブスカイト太陽電池とは

「軽い」「曲がる」という特徴があり、これまでのシリコン太陽電池の設置が難しかった曲面や、建物の壁面や窓、服やモバイル端末といった身の回りのほとんど全ての生活の中にあるもので発電が可能となります。

主な原料であるヨウ素は、我が国が世界シェアの約30%を占めるなど、再エネ導入の拡大等が期待できる次世代技術です。

当日会場では、ペロブスカイト太陽電池で発電した電気で走る「おれんじ鉄道（Nゲージ）」を展示します。

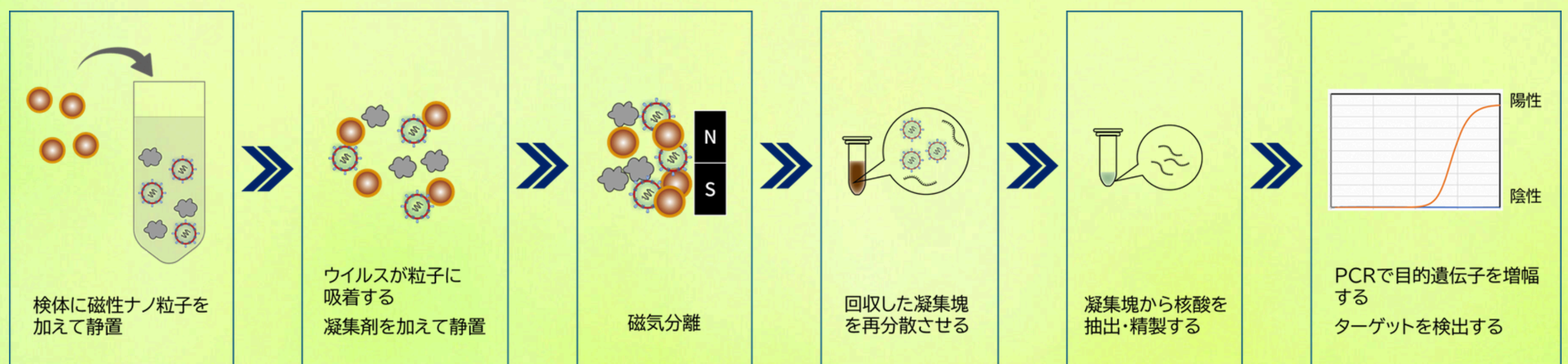


※イメージ図です

○ 磁性微粒子技術とは

下水の中のウイルスや菌を採取し、病原性の微生物の情報を分析することを「下水サーベイランス」と言い、採水した下水がカバーする施設や地域における感染症の動向等を調べることができます。

下水サンプル中のウイルスを磁性ナノ粒子に吸着させ、磁気により分離し、回収・濃縮する技術であり、従来の濃縮方法よりも、少ない採水の量と処理時間で省力化が可能であり、かつ感度の高い結果を得ることができます。



□ 会場

**水俣市公民館（水俣市洗切町2丁目10-26）**

※ 会場の駐車場は、台数が限られますので、満車の場合は水俣市役所駐車場又はもやい館駐車場をご利用ください

※ 水俣市役所駐車場及びもやい館駐車場をご利用の方は、幸橋は現在掛替工事のため車両は通行できません。